

もっと!

Motto! JA Hiroshima

JAひろしま

2023

5

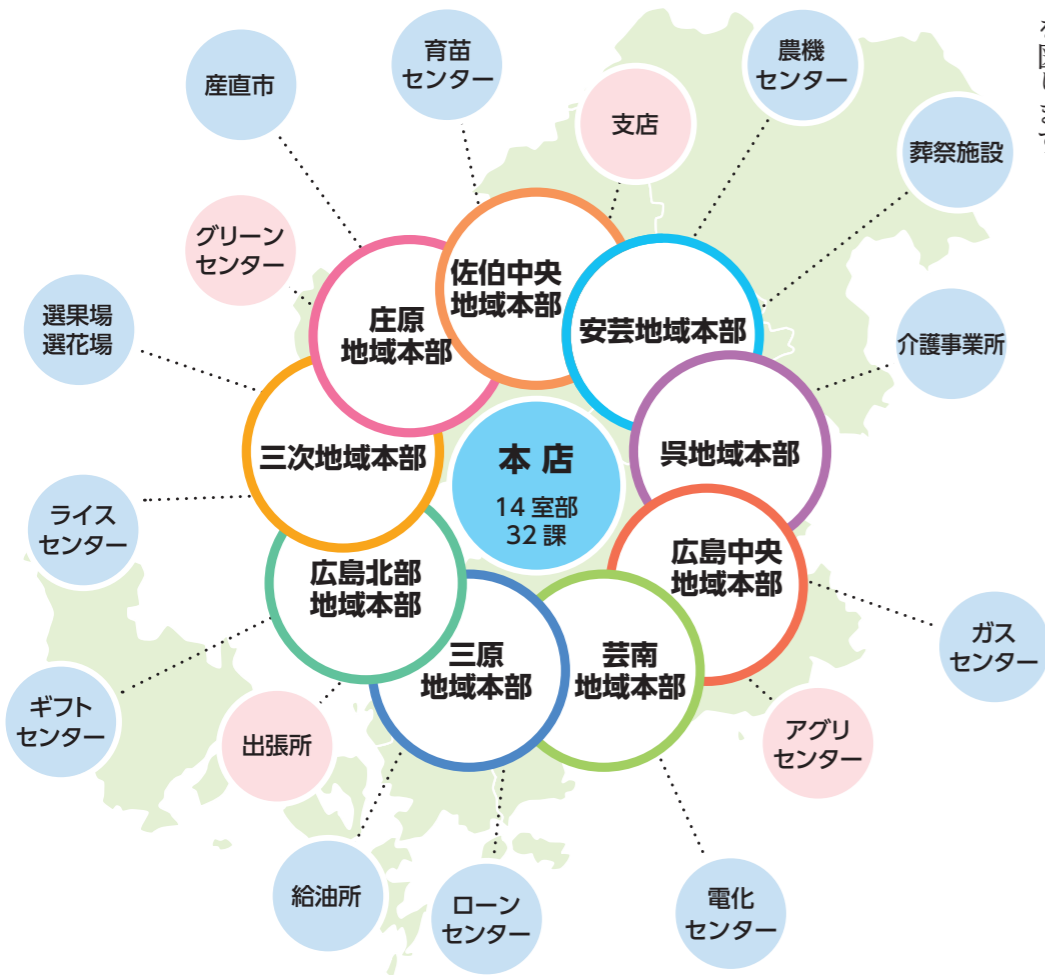
No.002

特集
はぐくもう、真心こめて
あなたとの未来
JAひろしまの挑戦!

CONTENTS もくじ

- 2 特集 JAひろしまの挑戦
- 6 輝く農業人
- 8 今月の産直市
- 9 今月のおすすめレシピ
- 10 JAひろしまトピックス
- 12 イチオシ!トピックス
Oh! 農 Our High School
- 13 インフォメーション
- 14 健康ひろば
- 15 クロスワード・お便り紹介

初年度機構図



新たな機構で地域農業をサポート

新たに本店を設け、これまでの9JAの本所・本店には、初年度に限り地域本部を設置します。営農経済部・信用共済部・統括部を置き、アグリセンターや支店などと連携を図ります。

令和6年度以降は、本店と地域営農経済センター、アグリセンター、支店が連携し、組合員と利用者の営農と暮らしのニーズに応えます。

はぐくもう、真心こめて
あなたとの未来

JAひろしまの挑戦!

令和5年4月1日、県内9JAが一つになり、「ひろしま農業協同組合(愛称:JAひろしま)」が誕生しました。

組合員数約19万人、全国トップクラスの規模となるJAとして、食と農を基軸に新たな価値を創造し、組合員・利用者・地域のみなさまが「合併してよかった」と実感できるJA、地域に根ざし、みなさまの暮らしを豊かにする愛されるJAを目指します。

地域の農畜産物、地域の文化や考え方を大切にし、各地域本部がもつ強みを集結し、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現、そして盤石な組織基盤を築き、組合員・利用者とともに新たな挑戦を続けます。

JAひろしま経営理念

- 1 持続可能な農業の実現**
安全で安心な農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支えるJAを目指します。
- 2 豊かで暮らしやすい地域社会の実現**
総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、協同の力で豊かな暮らしやすい地域社会の実現に貢献するJAを目指します。
- 3 JA組織の基盤強化**
次世代とともに「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として存立し、「持続可能な農業の実現」と「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」に向けて挑戦し続けるJAを目指します。

JAひろしまの概況 (2022年3月末の各JAの実績数値)

組合員数	192,716人	全国 3位
正組合員数	77,951人	全国 2位
准組合員数	114,765人	全国 3位
貯金残高	1兆2,964億円	全国 8位
長期共済保有高	2兆7,391億円	全国 7位
購買品供給高	144億円	—
販売品販売高	172億円	全国 22位

組合員の意思を反映させるために対話を重視

●「ふれあい活動」を導入



各地域本部でふれあい活動要領を定め、職員が毎月、組合員・利用者ならびに地域住民などを訪問し、意見や要望を聞きます。

●目的別懇談会を実施



生産者協議会、出荷者協議会、担い手組織など、組織別に行なわれるさまざまな集会や会合を通じて、意見や要望を把握します。

組合員・利用者

●支店ふれあい委員会を設置

支店単位に「支店ふれあい委員会」を継続または新設して、組合員の代表者や地域住民等とともにさまざまな地域協同活動を展開します。未設置の支店においては段階的に設置します。令和6年度から複数の支店(基幹店)にふれあい活動等の専従者「ふれあい係」を配置します。



●組合員組織および協力組織

女性部と青壮年連盟を組合員組織の代表として位置づけます。活動経過や状況、地域性を考慮して、各組織の活動の中での意見や要望を事業方針などに反映させます。



事業の基本方針・実施計画(一部抜粋)

資材重点品目の価格引き下げ



予約購買に重点を置いた供給方式や一括で仕入れる割合などを拡大し、肥料や農薬などの生産資材価格の低減に取り組みます。当用価格は、9JAが令和4年度に設定していた価格の最低ラインをJAの基本にします。令和5年度は水稲とかんきつ類の肥料・農薬485品目で取り組みます。また、「購買奨励金制度」を設け、購入者の負担を軽減します。

営農指導力の充実・強化

営農指導体制を4階層に分類して営農指導の充実を目指します。

- ① 専門営農指導員
- ② 営農指導員
- ③ 営農相談員
- ④ 営農アドバイザー

営農指導機能の強化に向け、JAの元職員や、地域のリーダー的な先進農家等と業務委託契約を締結し、農家からの営農相談に対応する「営農アドバイザー」を配置します。令和5年度は6地域本部で21人の任命を予定しています。併せて、営農アドバイザーの知識や技能を若手の職員に伝承し、営農指導担当者の計画的な育成を目指します。



農産物の有利販売



マーケットインに基づく産地への市況情報や実需者情報などのフィードバックや、販売強化を目的に広島市中央卸売市場内に販売企画室の出入として「広島市場事務所」を開設します。市場関係者などへのタイムリーな産地情報の提供や、情報の共有化で産地と実需者の結びつきを強化し有利販売を目指します。

鳥獣被害防止支援事業の実施

近年増加する農畜産物の鳥獣被害の対策として令和5年度から「鳥獣被害防止支援事業」を管内全域で実施します。組合員が有害鳥獣による農畜産物被害を防止するために購入する防護・捕獲資材など、対象資材の価格を値引きします。



直売所間の連携・品揃えなどの充実

販売拡大に向け、常設・直営する14カ所の産直市を中心に、インショップ等を含む直売所間の連携を促進し、品揃えの充実による来店者の増加を目指します。

また、産直市を起点とした新たな出荷者の掘り起こしに取り組みとともに、産直市を組合員や地域住民のくらしを支える活動拠点として、更には、「食と農」、「地域とJA」を結ぶ交流活動の拠点として位置づけ、地域の活性化を目指します。



※連携の第一弾として実施したデジタルスタンプラリー

総合ポイント制度の導入

令和5年度から、組合員やJA利用者を対象とした「総合ポイント制度」を段階的に管内全域に導入し、ポイント還元サービスを展開します。JA管内の180カ所に総合ポイントシステムを設置する予定で、農産物の出荷、肥料農薬や生活用品の購入、新規の融資取引や給料振込、年金振込等に対してポイントが貯まります。貯まったポイントは産直市での値引きなどに利用できます。



さまざまな広報ツールでJAや食と農をPR!

SNS「インスタグラム」

タイムリーな情報をいち早くお届けするため、インスタグラムを使って情報を発信します。管内の農畜産物や産直情報など「食と農」を中心とした内容で、大きくなったJAの魅力をみなさまにお伝えしますので、フォロー&いいねをよろしくお願いいたします。



インスタグラム公式アカウント

ホームページ

「いっしょが、いいね」をコンセプトに、暮らしに役立つ情報を発信します。JAの総合事業を活かし、農業だけでなく食・健康・美容・趣味・ショッピングなど、さまざまな情報発信を行います。



公式ウェブサイトホームページ

日本農業新聞

日本で唯一の日刊農業専門誌で、食と農の総合情報メディアです。

JAは、取り組みや現場で使える営農技術、地域の話、農畜産物のトレンド、営農経営の支援策などを発信していきます。



広報紙「もっと! JAひろしま」

JAひろしまを「もっと知ってもらいたい」という思いを込めて名付けました。広域になった管内の特色ある農畜産物や地域などを「もっと」みなさまに知ってもらい、親しみを感じてもらえるJAを目指します。





第1回

庄原市西城町
青ネギ「ヒバゴンネギ」

にしんすけ
仁井 慎介さん(39歳)

ほっとTime

・釣り(海、川、池)・休日に一人での作業

ぐっとWord

・感謝
仕事は一人ではできない。パートに来てくれる方や地域の人の協力があって農業ができる。



順調に成長する移植後の青ネギ



専用ハウスで管理する苗

庄原市西城町で特産の青ネギ「ヒバゴンネギ」を栽培する仁井慎介さん(39)は、生育を揃えた苗の移植とハウスの高温対策、緑肥作物で連作障害対策を実践し、A品率95%以上を確保しています。ハウス45棟、約1haで効率よく年平均3作を安定生産。2023年3月に「仁井農園」として法人化し、地域の担い手として期待されます。

2007年に父親や親戚と共にハウス10棟を建て、約18aで栽培を開始。1作目は、ほとんど出荷できません。2016年に、白ネギで主流の苗の移植を取り入れ、栽培体系を確立しました。紙製ポットに播種して、約40日間育苗。生育の均一化や作業性などを考慮して葉先を3回切り、約10cmで植えます。

移植で初期生育が揃うため、夏場の高温期の欠株や品質低下が減り、収量を増やしました。圃場での期間を55〜60日に短縮し、中耕や防草、防除などの作業負担も軽減しました。

ハウスの急激な温度上昇を防ぐため、3年前から遮光資材を利用します。雨期の気温28度を目安に、遮光率20〜25%の遮光剤を動力噴霧器で施すことで定植後の活着が安定し、生育後半の倒伏や折れなどの被害も抑えています。連作障害対策や土づくりに、2020年から緑肥作物を取り入れます。収穫を終えたハウスに、寒さに強いイネ



2023年3月に「株式会社仁井農園」を設立

ヒバゴンネギって？
昔ながらの土耕栽培で、ネギ本来の風味と強い香りが自慢の青ネギ。鮮度を保つため、根を付けたまま出荷するのが特徴です。



収量と品質を安定させ、ブランド力を高めたい

科のライ麦などを播種し、翌年2、3月にフレールモアで刈り、すき込みます。有機物を補給し、土壌の化学性や物理性を変え、連作障害を改善しました。

「ヒバゴンネギ」の色沢や大きさなどの品質へのこだわりが強い仁井さん。「収量と品質をより安定させ、ブランド力を高めたい。地元雇用を創出し、お世話になる地域に恩返しをしたい」と力を込めます。

お立ち寄りスポット!



ふくじょうじ
福成寺

今月の産直市周辺の
おすすめスポットをご紹介します。



産直市から車で約20分

「しゃくなげ寺」とも呼ばれる福成寺。その呼び名のとおり、約1,800本のしゃくなげの花と新緑がとても綺麗な寺です。4月中旬から5月中旬には「しゃくなげまつり」が開催され、地元住民でにぎわいます。境内には杉・栃ノ木・モッコクなどの巨木が存在し、広島県の天然記念物に指定されています。風情ある屋根付き橋もおすすめの写真映えスポットです。

- 東広島市西条町下三永3641
- お問い合わせ TEL.082-426-0523
- 営業時間 8:00~16:00

みつじょうこふん
三ツ城古墳

産直市から徒歩で約15分



三ツ城古墳は、国史跡に指定されており県内最大級の前方後円墳です。古墳の周りには約1,800本の埴輪が並んでいます。出土した副葬品や埴輪などは、東広島市立中央図書館内の三ツ城古墳ガイダンスコーナーに展示されています。三ツ城近隣公園管理棟内にも展示室を設け、古墳についての解説パネルや埴輪のレプリカなどを展示しています。公園には遊具もあり、子どもたちの遊び場や散歩コースなどにも利用され、学びと憩いの場として親しまれています。

- 東広島市西条中央7丁目24
- お問い合わせ
古墳についてTEL.082-420-0977(東広島市教育委員会生涯学習部文化課)
公園についてTEL.082-420-0955(東広島市都市部都市整備課)
- 営業時間 公園24時間営業
三ツ城古墳パネル展示室(公園管理棟内)年末年始を除く土日祝日の10:00~16:00



JAひろしま 今月の産直市

東広島市西条町寺家7957-1
【お問い合わせ】TEL.082-437-5831

おいしいを見つけに行こう!

JA交流ひろば とれたて元気市 となりの農家店

【営業時間】9:00~18:00 【定休日】盆・年末年始休業の場合あり



品揃え充実!

明るくゆとりのある店内には、新鮮な野菜はもちろん、米の食味ランキングで2年連続「特A」を受賞した「恋の予感」をはじめとするお米、漬物・ジャムなどの加工品、鮮やかな季節の花々が並びます。また、広島血統和牛(元就)のA4クラス以上のお肉が揃う「JAのお肉屋さん」や、瀬戸内海産を中心とした品揃えの「JAのお魚屋さん」も好評です。

「作るひと」と「食べるひと」を結ぶ産直市

となりの農家店では約1,600人の生産者が出荷しています。お客さまの食の疑問にアドバイスできるよう5人の食育ソムリエがいます。毎週土曜日は食育ソムリエが選んだ野菜をセットで販売し、お客さまから好評です。



おすすめの一品!!



株式会社アグライズの「トマト」

ビニールハウスで一年中栽培しており、季節によって味が変化します。夏はさっぱりした口当たり、冬は強い甘みの特徴です。味が濃く青臭さが少ないため、苦手な人も食べやすいです。ぜひ、おすすめのトマトを食べてみてください!



となりの農家店 東直樹店長

今月の おすすめレシピ

アスパラガスの 温泉卵のせサラダ

アスパラガスを使った、食卓に彩りを添える一品。子どもにも人気のメニューです。



材料(4人分)

- アスパラガス..... 6~8本
- 温泉卵..... 1個
- ヨーグルト..... 大さじ1
- マヨネーズ..... 大さじ1
- 粉チーズ..... 小さじ1
- 黒コショウ..... 適宜

作り方

- 1 アスパラガスは根元のかたい部分を切り、下側1/3の皮をむいて4等分に切る。塩少々を加えた熱湯でゆでる。
- 2 ボウルにヨーグルトとマヨネーズを混ぜ合わせ、ゆでたアスパラガスと和える。
- 3 器に盛り、温泉卵をのせ粉チーズをかける。
- 4 お好みで黒コショウをかける。



農業振興へ決意あらたに ひろほく農考会



J A広島北部地域本部管内の農業者と農業従事者で構成する「ひろほく農考会」は、地域を見つめ直し、さらなる組み合わせや連携を図るなかで、新たな可能性と地域農業を振興することを目的に会員同士で経営面や技術的な情報交換などの交流を行なっています。

コロナ禍で数年、活動ができませんでしたが、昨年、結成10周年を迎え、また3月に開いた総会で、会員同士が圃場の視察などを通して意見交換をしていくことなどを確認し、農業振興へ決意を新たにしました。今後は、勉強会も開催していく予定です。



▲地域の交流を深めていきます

幼稚園・保育園に園児作品 カレンダーを贈りました！



J A安芸地域本部は3月9日、J A共済連広島と連携し、管内の園児のみなさんから募集した図画や折り紙などの作品を掲載したカレンダーを幼稚園と保育園など9園に計1,840冊贈りました。

次世代層の地域のみなさんにJ Aを知ってもらい、親しみを持ってもらおうと2ヵ月に1回作品を募集し、園児作品展として支店で作品を展示しています。1年間の作品を作品集としてカレンダーにまとめ、



園ごとに作製しました。作品展示は「かわいらしい作品で微笑ましい」と好評でした。

▲各園のかわいらしいカレンダーが完成しました

女性を対象に講習会 農機具の安全な取り扱い方学ぶ



J A広島中央地域本部と東広島市農業委員会は3月8日、同市にあるJ A西日本営農技術センターで、女性向けの農機具等安全取り扱い講習会を開きました。

地域住民や同委員会の女性会員など23人が参加し、農機の安全な使用方法を学びました。

J A全農ひろしまの担当者が、農作業事故の発生状況や原因を説明。未然に事故を防ぐポイントなどを講義しました。圃場では、J Aと農機メーカーの担当者が、刈り払い機や管理機、トラクターを操作しながらポイントを説明。自己点検の方法や作業時の注意点などを確認しました。



▲トラクターの操作を体験する参加者

加工用キャベツ定植始まる



府中市上下町で3月6日、業務・加工用のキャベツの定植が始まりました。2023年春作は、約9ha、30万3,000本の作付けを計画し、6月上旬からの出荷を予定しています。

農事組合法人上下南農産は、約2.7haで栽培を計画しています。圃場は排水対策を施し、地温を上げるために黒マルチで被覆。1月下旬に128穴のセルトレーに種をまき、ハウス内で温床マットを使い管理した苗を移植機で丁寧に植え付けました。



▲移植機でキャベツを定植

やさふれあい市場本郷店 リニューアルオープン



J Aのやさふれあい市場本郷店が3月24日、店舗移転改修工事を終えてリニューアルオープンしました。開店前から並んだ約50人を始め、先着100人に紅白餅をプレゼントしました。売り場面積を拡張し、消費者ニーズに合わせた店内作りを目指します。

営農・経済事業の収支改善と更なる拡充に向け、課題の整理と改善に向けた取り組みを進めており、老朽化した施設を移転改修し、品揃えを充実させました。職員の接客研修および、生産者の意識統一などを総合的に改善することで利用者の呼び戻しにつなげ、利用者・出荷会員の増加の実現につなげます。



▲紅白餅を手渡す職員(右)

JAひろしま第1期生入組



J Aは4月3日、海田町の安芸地域本部で2023年度入組式を行ないました。第1期生、62人に三戸正宏組合長が辞令を交付。「新入職員のみなさんに1日も早く新しい職場環境に慣れて柔軟な発想や、機動力を発揮していただきたい」と激励しました。

新入職員代表は「組合員奉仕の精神に徹するとともに、社会人としての自覚と責任ある行動をする」と決意を新たにしました。

新入職員は4月5日まで研修に参加。各部門の講義を受け、総合事業の基礎への理解を深めました。



▲誓いの言葉を述べる新入職員

お宝とまと出荷ピーク



4月に入り、J A呉地域本部管内の呉市倉橋地区でお宝とまとの出荷がピークを迎えています。

生産するのは7戸の農家と1戸の法人で構成される、倉橋町施設野菜生産組合。6月末まで約400tの出荷を予定しています。

土づくりのための配慮だけでなく有機質肥料を主に使用し、農薬の使用回数に制限を設け、水分を控えることで酸味と甘みのバランスの良い風味の余韻が残るトマトに仕上がります。



▲熟度を見極めながら収穫する立花組合長

同組合の立花隼人組合長(41)は「食味、糖酸のバランスのよいトマトに仕上がっている。口の中いっぱい広がるお宝とまのおいしさをぜひみなさんに楽しんでいただきたい」と収穫に汗を流します。

目で確かめて アスパラガス出荷本番



三次市の三良坂アスパラ部会と吉舎町アスパラ部会は4月3日、J A全農ひろしま北部地域アスパラ選果場で合同のアスパラガス出荷会議を開催し、生産者やJ A職員等9人が出席しました。3月下旬からスタートした共選出荷は計画通りの出荷量で品質も良好となっています。同会議では2022年度の出荷状況を振り返り、現物のアスパラガスで出荷のタイミングや規格を確認しました。

また、今後の栽培管理については病害虫対策の徹底を促しました。同選果場の松田和規場長は「異常気象に負けず栽培管理を徹底し、より多くのアスパラガスを出荷してほしい」と話しました。



▲アスパラガスの規格を確認する部会員ら

JA合併に伴う正組合員資格要件の変更のご案内

令和5年4月1日よりJAひろしまがスタートいたしました。正組合員資格要件は次のとおりです。

1 農業を営んでいる個人の方で、JAひろしまの地区内にご住所またはその農業に関わる土地や施設がある方

2 1年のうち45日以上農業に従事している個人の方で、JAひろしまの地区内にご住所またはその農業に関わる土地や施設がある方

詳しくはお近くの支店へご確認ください。
※法人等は要件が異なりますのでお近くの支店へご確認ください。

組合員・利用者みなさまへ

各種お振込み口座をJAにご指定いただいている方

令和5年4月1日以降の振込については、お客さまご自身でお振込人さまに、「**ひろしま農業協同組合(金融機関コード:7994)**」への振込をご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、一部店舗では、合併に伴い店舗名が変更になっている場合もありますので、お近くの支店へご確認ください。

公共料金等の自動支払いをご利用のお客さま

公共料金、クレジットカードの利用代金などの自動支払いにつきましては、当JAから変更手続きをいたしますので、お客さまのお手続きは必要ございません。

手続きが終了するまでの間、支払先からの領収書に旧JA名が表示される場合がありますが、ご了承願います。

理事会報告

令和5年度 第1回 開催日時: 4月1日10:00から

- 協議事項
- 第1号議案 組合長、専務、常務の選任について 【承認】
 - 第2号議案 代表権の付与について 【承認】
 - 第3号議案 主たる事務所・従たる事務所の設置について 【承認】
 - 第4号議案 公告を行う際のインターネットアドレスについて 【承認】

令和5年度 第2回 開催日時: 4月1日10:35から

- 協議事項
- 第1号議案 理事の順位について 【承認】
 - 第2号議案 諸規程類の設定について 【承認】
 - 第3号議案 特定理事の選任について 【承認】
- 報告事項
- 1 監事監査規程等の設定について
 - 2 創立記念式典の運営について

組合員資格の変更等について

相続の発生や、転居等により組合員資格に変更があった場合は、JAへの届出をお願いいたします。

お詫びと訂正

広報紙「もっと! JAひろしま」創刊号の内容について一部誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

該当箇所	誤	正
9ページ及び11ページ ◎となりの農家 黒瀬店 電話番号	082-431-0051	0823-83-2700

イチオシピックアップ

キッチンカーで地産地消PR イベントに出向き広める

JA広島中央地域本部は、キッチンカーを導入して農畜産物をPRしています。県内の産直市やイベントに出向き、地産地消の普及や農業者の所得向上につなげます。キッチンカーはコンロやフライヤー、流し台、冷蔵庫などを備えています。名前は、「かむCOMEM市場」。目を引くデザインにこだわり、車体には、白ネギやカボチャ、稲、アスパラガス、ピーマン、柿「西条」などの特産品を鮮やかに描きました。



▲キッチンカーで地産地消メニューを提供するJA職員

中、コロナ禍でも需要が増えてくるキッチンカーに着目しました。県内各地に出向いてアピールし、将来は、子ども食堂や高齢者向けなど福祉活動としての展開や、災害時の被災地での炊き出しなども視野に入れています。

JAは、「持続可能な農業の実現」「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」「JA組織の基盤強化」に向けて、取り組みを進めています。このコーナーでは、JAが実践している事業や取り組みから「イチオシ」を紹介いたします。

Oh! 農 High School

ホルスタイン審査技術を磨く

西条農業高校と庄原実業高校は3月18日、三次市の三次家畜市場で開かれた「第39回ひろくブラックアンドホワイトショー」で乳牛種の審査研修を行いました。生徒7人が参加。2023年度の日本学校農業クラブ全国大会で開催が予定される家畜審査競技会乳牛の部に向け、家畜審査の基本を学びました。

未經産牛4頭、経産牛5頭を審査。経産牛は、生年月日や最終分娩年、年次、体高、胸囲などの情報で乳器、肢蹄、尻を比べ順位を付けました。審査・講評後は、オールジャパンブリーダーサーブスの前田直樹営業本部長が審査ポイントを助言しました。

参加した生徒は「校外で乳牛種に触れる機会は少ない。多くの牛を観察でき、審査ポイントも教えてもらい勉強になった」と話しました。

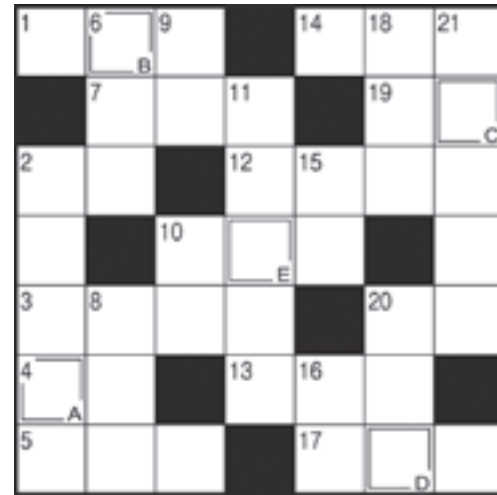
日本学校農業クラブ連盟に加入する、西条農業高校、吉田高校、庄原実業高校では、将来プロフェッショナルとして活躍する人材育成を目指し、特色ある高校として専門教育に力を入れています。農業に関わる幅広い産業に対する知識や技術の習得に努めている高校の特色ある取り組みについて紹介します。



クロスワードパズル

(出題/ニコリ)

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



※答えは6月号に掲載します。



創刊号の答え「ハルガスミ」

今月のプレゼント

正解者の中から抽選で10名様に**じゃぼんサイダー**をプレゼント!!

安芸津のじゃぼんを使用したサイダーです。



クイズ

- 端午の節句に食べるものの1つ
- 竹林が似合う猛獣
- 感のある3D映像
- 母の日に贈るカーネーションの、定番の色の1つ
- 大正の1つ前の年号です
- 害獣や害虫を追い払うこと
- 淡水と海水が混じり合ったもの
- 鳴門海峡のものが有名
- 校内で「走らないように」と注意されやすい場所
- 京都三大祭の1つ、——祭は5月15日に行なわれます
- 煮切って使うこともある調味料
- メロンやスイカはこの仲間
- 街を——もなくうろついたもの
- 潮干狩りに出かける所
- 12星座占いで5月生まれの人は——座か双子座です
- 夜になると家々にともりまです
- ヤマネコは特別天然記念物です
- ザッと降ってサッとやみまです
- 変わると寝付けない人も
- お稲荷さんの——はキツネです
- 桃太郎のお供をした鳥
- 南の反対側
- 田んぼへ——から水を引き入れた
- 小野妹子が遣わされた国

【応募方法】

はがきまたはインターネットより、パズルの答え、住所、氏名、年齢、電話番号と写真やイラスト、身近で起きた出来事などを添えてご応募ください。

【応募締切】

6月5日(月)

※当日消印有効

〒739-0015 東広島市西条栄町10-35
JAひろしま 総務部広報課「クロスワードパズル」係
https://jahiroshima.or.jp/8-contact
JAひろしまホームページのお問い合わせページよりご応募ください。



※投稿に際して取得した個人情報承諾なく第三者に提供しません。※投稿は紙面の都合上、すべて掲載できません。ご了承ください。※プレゼントの当選発表は発送をもってかえさせていただきます。



みなさまからの お便り紹介



- ◆ ツバメが帰ってきました。夏終わりまでにぎやかにります。(三原市 S・Iさん)
- ◆ 今はきっと巣作りの最中ですね。巣立つまでしっかり見守ってあげてください。(東広島市 M・Tさん)
- ◆ 家の前で、ごどもと孫12名で花見BBQをしました。その後、雨が数日つづいた。(呉市 N・Oさん)
- ◆ 家族でお花見ステキです。おすすめのお花見スポットがあればぜひ教えてください。(東広島市 M・Tさん)
- ◆ 定年して始めた家庭菜園も5年目になります。今年は初めて椎茸栽培にチャレンジしています。(廿日市市 H・Kさん)
- ◆ GWを使って、デジタルスタンプラリーに参加しようと思います。どこをドライブしようかなと、ワクワクしています。(廿日市市 H・Kさん)
- ◆ 管内には地域ならではの魅力的な農畜産物がたくさんありますので、スタンプ集めを兼ねて各地の産直市を巡ってみてください。(廿日市市 H・Kさん)
- ◆ 高校をこの春卒業した孫が毎日仕事に行きラインで知らせてくれるのが今の楽しみです。(安芸高田市 匿名)
- ◆ とってもかわいいお孫さんですね。愛情が伝わってきます。(安芸高田市 匿名)

今回のテーマ 「海」

※「クロスワードパズル」の答えと一緒に投稿いただいても構いません。応募先は上記の「クロスワードパズル」の応募方法をご参照ください。ペンネームでの投稿もできます。

編集後記

広報活動は、全域の情報から地域の情報まで、発信していきたいと思っております。どうしても、今までこうしていた、というのが抜けず、発想の転換が必要であると日々感じています。たくさんの方の情報を発信していきたいと思っておりますので、合併前に引き続き、JAひろしまをよろしく願います。(さかみつ)

健康ひろば

膝の形態

JA 吉田総合病院
人工関節センター長 本山 満

コロナ禍はほぼ終息？し、WBCでの大谷翔平選手の大活躍の余韻が冷めやらぬ中、球春も到来しておりますが、みなさまお元気でしょうか？膝関節を専門にしている本山です。昨年は広島北部だけでなく、広島市、廿日市市、海田町、大崎上島町、山口県岩国市、愛媛県今治市などからも手術希望の患者様の来院があり、年々、来院されるエリアが拡大している印象で、感謝しております。

さて膝の痛みはなぜ起こるのでしょうか？年齢でしょうか？ケガでしょうか？難しい問いではありますが、年齢の要素もあり、ケガ、特に小さなケガをきっかけに起こるということもあるでしょう。私はさらに、遺伝子的な膝の形態の要素もあると感じています。通常初診時には、X線写真を2枚か3枚撮って初期診断を行なうことが多いと思いますが、私の膝関節外来ではX線撮影の種類を豊富に準備しており、いろいろな角度から膝を見つめるように努力しております。膝は右と左があり、両者は似ているけど、完全に同じではありません。特に痛みの出始めた中年以降の膝は初期でも小さく変化していますし、反対の膝にも少なからず影響を与えます。起源が同じでも左右で膝の形態が違っているなんて、と思われるかもしれませんが、どんなに似ていた兄弟姉妹も年齢を重ねると違って来るのと同じです。

近年、膝関節外科の分野では50歳以上の中高年の加齢変性を基盤とした内側半月板後

根断裂の診断治療や研究が盛んですが、私は加齢だけでなくその人個人の膝の形態にも注目して説明するようにしております。尚この内側半月板後根断裂は、軽い外傷を契機に発症します。階段で足に強く荷重をかけたとか自転車を降りた瞬間に膝の後ろがぶちっと音がしたなど。痛みが強い割には初診時X線で異常がない場合が多く、診断が難しい疾患です。階段で起きるなんて他人事ではないですよ、ぜひ知っておいてください。



JA 尾道総合病院
尾道市平原一丁目10-23
TEL.0848-22-8111

JA 吉田総合病院
安芸高田市吉田町吉田3666
TEL.0826-42-0636

JA 広島総合病院
廿日市市地御前一丁目3-3
TEL.0829-36-3111





～大地の恵み～

「アスパラガス」

アスパラガスは、管内の北部地域を中心に幅広く栽培されています。新鮮なアスパラガスは茎が太く、穂先が締まっています。この機会にぜひ、食べてみてください。

